

■ 専修学校には入学資格によって3つの課程があります

専門学校（専修学校専門課程）

Professional Training College (Specialized Training College, Postsecondary Course)

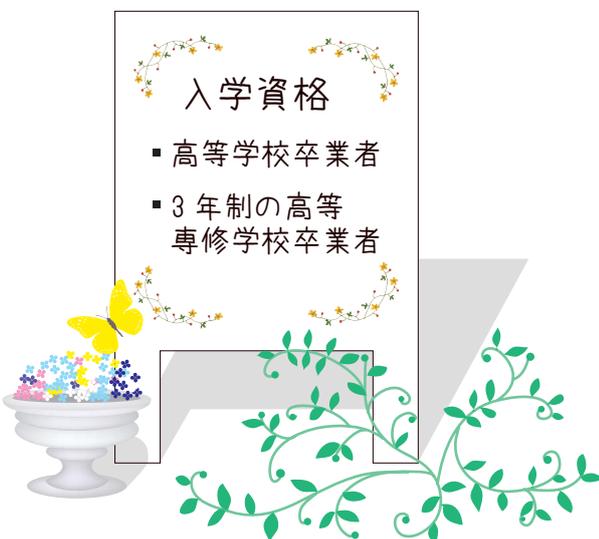
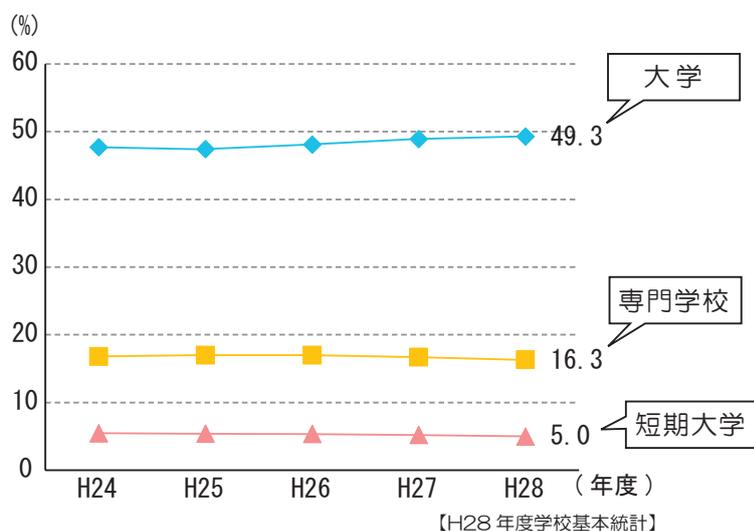
専修学校のうち専門課程を設置する専修学校を「専門学校」と呼びます。専門学校は約2,800校あり、約66万人が学んでいます。

社会のニーズに即応した柔軟かつ実用的なカリキュラムによって、より高度な専門的技術・技能の習得を目指す教育機関であり、今や大学に次ぐ高等教育機関として重要な役割を担っています。

近年、資格の取得を目指して、大学や短期大学、高等専門学校を卒業してから専門学校に入学する学生が数多くいます。平成28年度においては、1万7千人を数えています。

また、専門課程修了者の社会的地位の向上を図るため、修了時には学習時間・内容等に応じて「専門士」「高度専門士」という称号が付与されたり、大学への編入学、さらには大学院への入学も可能となっています。

■ 新規高卒者の進学率の推移



「専門士」って？

Diploma

以下の要件を満たした課程で、文部科学大臣が認めた専門学校の修了者に対しては、「専門士」の称号が付与されています。

なお、「専門士」の称号が付与された者は、短期大学卒業者と同等以上の学力があると認められる者として、大学への編入学の資格が与えられています。平成26年1月現在、修業年限が2年以上の学科のほとんどが、「専門士」の称号が付与される課程として認められています。

「専門士」の称号が付与される 専門学校の要件

- ① 修業年限が2年以上
- ② 総授業時数が1,700時間(62単位)以上
- ③ 試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っていること

修業年限2年以上の専門課程の学科数
6,950 学科



(平成26年1月告示現在)

「高度専門士」って？

Advanced Diploma

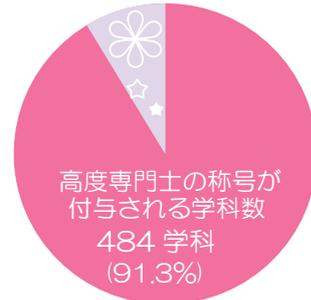
以下の要件を満たした課程で、文部科学大臣が認めた専門学校の修了者に対しては、「高度専門士」の称号が付与されています。「高度専門士」の称号が付与された者は、大学卒業者と同等以上の学力があると認められる者として、大学院の入学資格が与えられています。

平成26年1月現在、修業年限が4年以上の学科のうちの約9割以上の学科が、「高度専門士」の称号が付与される課程として認められています。

「高度専門士」の称号が付与される 専門学校の要件

- ① 修業年限が4年以上
- ② 総授業時数が3,400時間（124単位）以上
- ③ 体系的に教育課程が編成されていること
- ④ 試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っていること

修業年限4年以上の専門課程の学科数
530学科



（平成26年1月告示現在）

大学への編入学はできるの？

以下の2つの要件を満たす者は、大学に編入学することが可能となっています。

- ① 修業年限が2年以上で、総授業時数が1,700時間（62単位）以上の専門学校の修了者
- ② 高等学校卒業や高等学校卒業程度認定試験合格者など、大学入学資格を有する者

ただし、編入学できる年次や認定される単位数など、編入学に関することは各大学で定めています。事前に、希望する大学の入試課へ問い合わせ、編入学に必要な手続きや書類等について調べておくことが必要です。

平成28年度は1,500名以上が大学に編入学し、学んでいます。

大学院への入学はできるの？

専門学校のうち、右記の4つの要件を満たしたもので、文部科学大臣が指定した学科の修了者は、大学卒業者と同様に大学院入学資格が得られます。

大学院入学資格

- ① 修業年限が4年以上
- ② 総授業時数が3,400時間（124単位）以上
- ③ 体系的に教育課程が編成されていること
- ④ 試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っていること

注目!

文部科学大臣が認定します 「職業実践専門課程」とは？

Professional Post-secondary Course

平成26年度
スタート

専門学校のうち、企業等と密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組む学科を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定します。

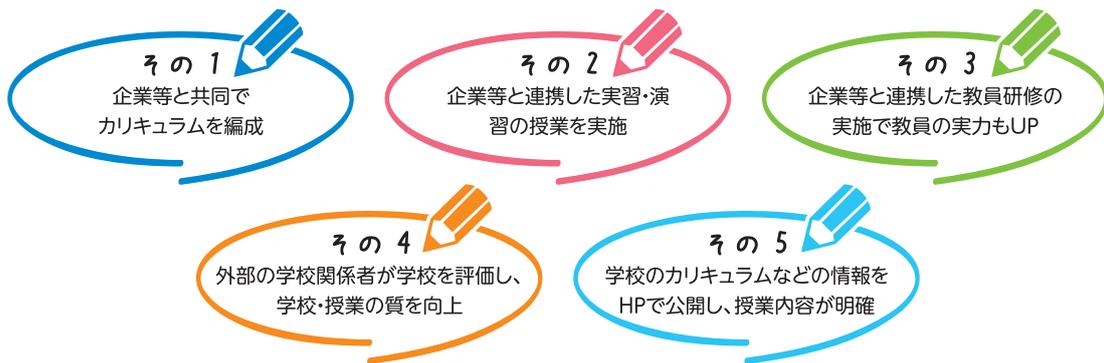
平成29年2月現在、902校(32.0%)、2,773学科(39.5%)が「職業実践専門課程」の認定を受けています。

※()内の数字は学校数については全専門学校数(2,817校)、学科数については修業年限2年以上の全学科数(7,005学科)に占める割合。(平成28年度学校基本統計による。)

◎「職業実践専門課程」の特徴は？

文部科学大臣が定めたすべての要件を満たす「職業実践専門課程」の認定学科には、次のような特徴があります。

「職業実践専門課程」の特徴



→ 最新実務の「知識」「技術」「技能」が身につく!

このほか、① 修業年限が2年以上、② 総授業時数が1,700時間以上または総単位数が62単位以上という要件を満たしています。

◎分野別の認定状況 (平成29年2月24日現在)

分野	工業	農業	医療	衛生	教育 社会福祉	商業 実務	服飾 家政	文化 教養	(合計)
認定 学科数	616 (49.8%)	12 (9.4%)	497 (27.0%)	260 (30.0%)	248 (39.4%)	519 (42.2%)	103 (22.5%)	518 (29.3%)	2,773 (39.5%)

※各分野の()内の数字は当該分野に属する全学科に占める割合。ただし、合計欄の()内の数字は、修業年限2年以上の全学科数(7,005学科)に占める割合。(平成28年度学校基本統計による。)

ここがスゴい！①

◎ 学生にとっての魅力

- ✓ 企業等のニーズを反映したカリキュラムが学べる
- ✓ 企業等と連携した実習・演習等を経験できる

職業実践専門課程として認定された専門学校では、企業等と連携したカリキュラム作成や、実習・演習等を実施しているため、実際に働くことを意識しながら、実践的かつ専門的な知識・技術・技能を身につけることができることが大きな魅力です。

職業実践専門課程として認定された学科の学生の声

企業等と連携した実習・演習等での経験



○普段の勉強がどのように現場で使われるかを確認でき、学校では学べない実践的なことが学べました。働いていく場所のイメージが持てたことも収穫のひとつです。(医療分野、3年生)

○実施にお客様の前に出て働くことで、責任感が強くなり、自紙の持って仕事に取り組みなければならぬという自覚が芽生えました。(商業実務分野、2年生)

教員からの熱心な指導・サポート

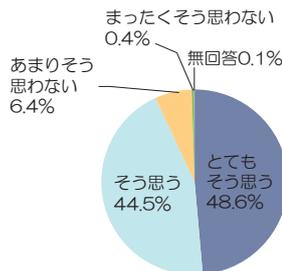
○現場経験のある先生方の実践的な授業・指導が受けられて、すごくためになっています。現場での経験談や失敗した話などを聞くこともあるし、授業も工夫されていて、1つ1つが魅力的です。(教育・社会福祉分野、1年生)

○先生や講師の方々の指導力が高いので自分が成長していると感じられます。(文化・教養分野、1年生)

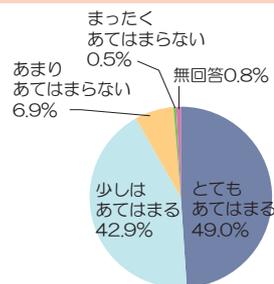
○授業後に親身になって丁寧にわからない所を教えてくれる先生が多いことが一番の魅力だと思います。(工業分野、1年生)



質問：学ぶ内容と実際に働くこととの結びつきを個別に、十分に指導されていると思いますか？



質問：企業等と連携した実習・演習によって、社会人としての心構えを修得できましたか？



文部科学省 平成27年度「職業実践専門課程の実態に関する調査研究」

ここがスゴい！②

◎ 連携する企業等にもメリット

- ✓ 実践的な知識や技能を身につけた専門人材を採用できる
- ✓ 学生に「教える」経験を通じて自社社員を育成できる

専門学校等との連携は、企業等にとって、基礎技術を身につけたモチベーションの高い人材の採用につながることや、学生への指導を通じた社員のプレゼンテーションスキルや課題解決力が向上することなど、企業等にとってもさまざまなメリットをもたらしています。